

① 題：「死に至るまで」(33 分)

220312

説教者 : 花田憲彦

聖書朗読 : 使徒行伝 7 章 59,60 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト 『患難から栄光へ』 第 10 章

「ステパノの殉教を目撃した人たちはみな深い感動をおぼえた。彼の顔に押された神の印の記憶と、聞いた人々の心を動かした彼の言葉は、目撃者の心にいつまでも残って、彼が宣べ伝えていた真理のあかしとなった。彼の死は教会にとって苦しい試練であったが、サウロが導かれたのはこのおかげであった。サウロは殉教者ステパノの信仰と忠誠、その顔にやどった栄光をどうしても記憶から消すことができなかった。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 332 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 346 番

② 題：「むなしくは戻らない」(45 分)

220820

説教者 : 伊藤 滋

聖書朗読 : イザヤ書 55 章 8~11 節

瞑想の言葉 : コリントの信徒への手紙一 15 章 58 節

「わたしの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずです。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 105 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 340 番

③ 題：「死にかけているようで生きている」(37 分)

230429

説教者 : 稲田 豊

聖書朗読 : コリントの信徒への手紙二 6 章 8~10 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト 『患難から栄光へ』 第 1 章

「靈的暗黒の時代に神の教会は、山の上にある町のようなものであった。各時代にわたり、各世代を通じて天の高潔な教えは教会の中で明らかになってきた。教会はどんなに弱く欠陥だらけのように見えても、神が特別な意味で最高の関心を払われる対象である。教会は神の恵みの舞台であり、そこで神は人々の心を変える力をあらわすことを、お喜びになるのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 130 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 212 番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>) に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。